

令和7年度 浜松市立三ヶ日東小学校 学校評価アンケート結果

1 自己評価結果

本校では、目指す子供像を「よりよい自分、よりよい仲間、よりよい学校をつくる子」とし、予測困難な令和の時代を生き抜く子供たちの育成を目指している。この目指す子の育成を具現化するために「知・徳・体」のバランスのとれた重点目標を設定し、学校教育目標である「夢をもち、都筑の丘に輝く子」を育てていきたいと考えた。そこで、「目指す子供像」「知…進んで学ぶ子」「徳…思いやる子」「体…健やかな子」の重点目標を中心に令和7年度の自己評価目標を設定し、アンケート形式で、児童・保護者・教職員に回答していただいた。

自己評価結果は別紙のとおりである。各設問の左側に付いている記号は、肯定的な評価の割合（「そう思う」「大体そう思う」の合計）を示している。

◎	肯定的な評価が90%以上	△	肯定的な評価が70%以上
○	肯定的な評価が80%以上	×	肯定的な評価が70%以下

2 児童アンケートより

- ・ すべての項目において、肯定的な評価が80%を超えており、落ち着いて充実した学校生活を送ることができている児童が多いと言える。
- ・ 「授業では自分の考えを進んで伝えている」の項目がやや低い。特に「そう思う」と自信をもって答えている割合が6割程度である。自分の意見を進んで言える場の設定や学習展開の工夫をさらに行い、授業改善を図っていきたい。さらにICT活用等を含めた「伝え方」についての指導も継続的にしていきたい。また、「学校に行くのは楽しい」の項目も9割を下回った。友達によさやがんばりを見つける活動や委員会によるイベント活動を充実させ、自己肯定感や他者信頼感を高め、温かい雰囲気のある学校づくりにさらに努めていきたい。

3 保護者アンケートより

- ・ 「目指す子供像」「思いやる子」「健やかな子」の項目について、90%程度の肯定的な評価をいただいた。楽しく学校に通い、他の学年の児童とも仲良く関わることができていると考えている保護者が多い。また、学校での様子や情報について知ろうとしていただいている保護者が多く、本校の教育活動に大変協力的であると言える。
- ・ 「知…進んで学ぶ子」に関する項目の自己評価が低い。「授業では、自分の考えを進んで伝えている」「分からないことやできないことに粘り強く取り組む」の項目が低く授業中に先生や友達の話をしっかり聞いているのか、授業に参加し、内容を理解しているのかといった不安を感じているものと思われる。また、言葉遣い、けじめのある行動、友達によさを見付けるといった項目が9割を下回った。家庭での表れが学校でも出ているのではないかと考えたものと思われる。年間を通して、話を聞くこと、挨拶、けじめをつけることの必要性については、全校朝会等で繰り返し発信している。学習面と合わせて今後も考えていくようにしたい。

4 教職員アンケートより

- ・ 保護者と同じように「授業では、自分の考えを進んで伝えている」「分からないことやできないことに粘り強く取り組む」の項目が低い。学習面について、物足りなさを感じている教職員が多いと感じる。校内研修を継続して行い、本校の児童に合った「主体的な学び」について模索していきたいと考える。
- ・ 「毎日の授業に向けて、教材研究の時間がとれている」の項目が大変低い。学校での勤務時間の業務の見直しや個人研修の時間の確保について、働き方改革の観点から、さらなる見直しが必要になってきていると考える。

5 いじめ防止基本方針に基づく内容より

- ・ 児童への質問事項である「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」という項目に98%、「先生は頑張っていることを認めてくれたり励ましてくれたりしている」という項目に99%の肯定的な意見が見られた。いじめゼロに向けた取り組みができていくかという事項については、保護者、教職員ともに高い評価をいただいた。これまでの日頃の児童観察に加え、学級担任が全児童との個々面談を実施し一人一人と向き合う時間が確保されていることで、児童が安心して学校生活を送ることができる環境づくりにつながっていると考える。

6 成果について

- ・ 児童や保護者、教職員の回答から、充実した学校生活を送っていることがうかがわれる。また、本年度計画している学校行事等の教育課程は、計画通りすべて行うことができている。これからも、楽しい学校づくりのために、児童や保護者、地域の方の声を大切にして、丁寧に対応していきたい。

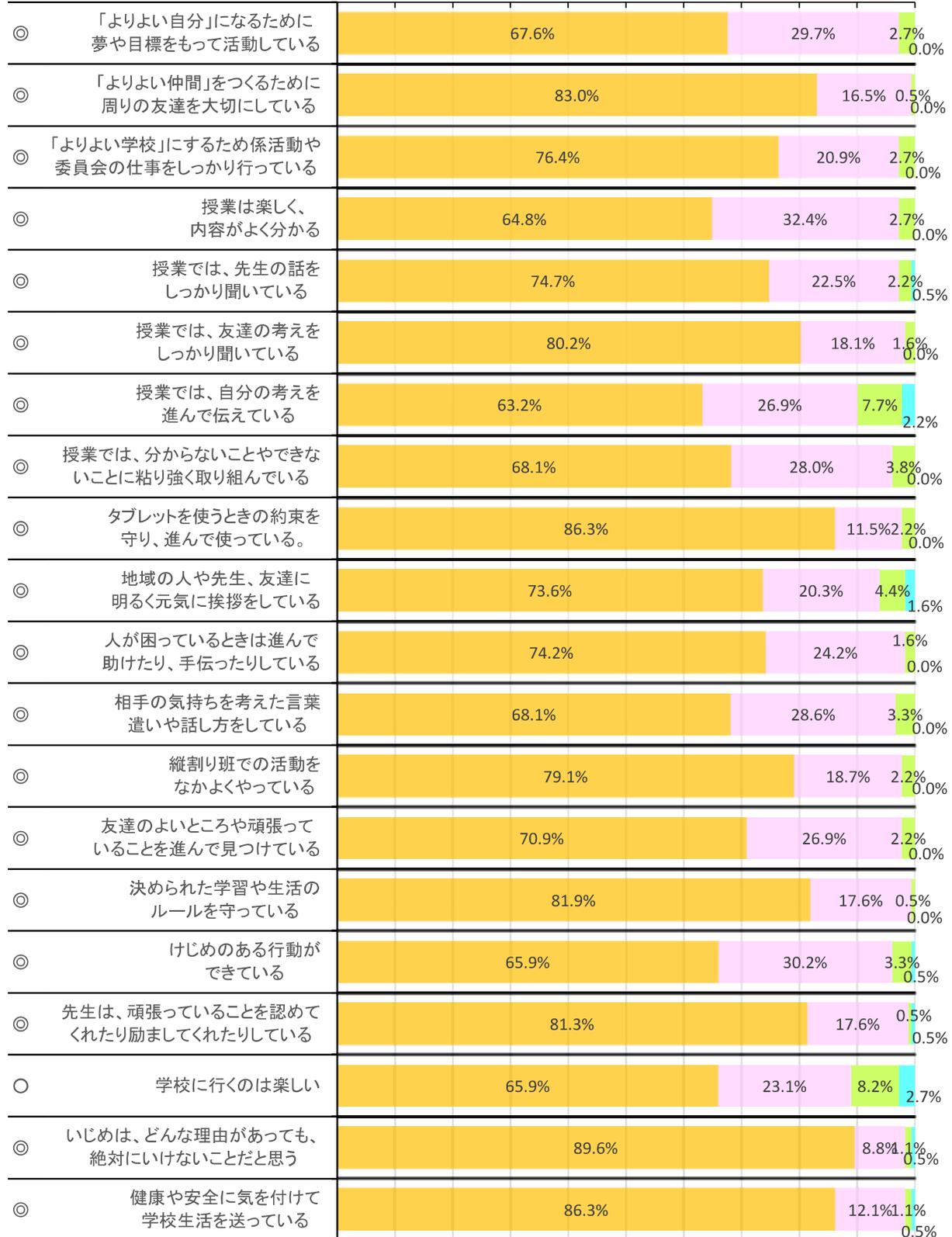
7 課題、改善策について

- ・ 課題については、自分の考えを進んで伝えること、粘り強い学習への取り組みが挙げられる。児童に粘り強く学習に取り組ませるため、話を聞くことの大切さを改めて考えさせる。また、学習内容や題材を吟味し、楽しく学べ、学びが持続できる題材開発に努めていきたい。そして、自分の考えを進んで伝えることができるよう、1時間ごとに学習内容の確認や学びの振り返りの場を設定したり、ICT機器を積極的に利用したりして授業改善に努めたい。
- ・ いじめ問題への取り組みについての課題は、全職員が共通理解をもち、組織対応ができる体制づくりをさらに進めていきたい。今後、児童が自分たちの力でよりよい学校づくりに参画するため、児童会や委員会活動を通して、いじめがない楽しい学校づくりのための企画を立案し、さらに活発化できるようにしていく。
- ・ 学校教育目標の実現のため、「知・徳・体」のバランスの取れた「輝きプラン」を作成する際、児童実態や保護者・地域の願いを真摯に受け止めながら、児童や教職員に分かりやすいものになるように、重点項目を明確にする等工夫をしていく。今後も、開かれた三ヶ日東小を目指し、CS活動やサポーター活動も充実・発展させていきたいと考える。

令和7年度 児童 学校評価アンケート集計結果

■ そう思う ■ 大体そう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



令和7年度 保護者 学校評価アンケート集計結果

■ そう思う ■ 大体そう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

◎	「よりよい自分」になるために夢や目標をもって活動している	28.3%	63.0%	8.7%	0.0%
◎	「よりよい仲間」をつくるために周りの友達を大切にしている	52.2%	43.5%	2.2%	2.2%
◎	「よりよい学校」にするため係活動や委員会の仕事をしっかり行っている	41.3%	52.2%	6.5%	0.0%
○	授業は楽しく、内容がよく分かる	23.9%	65.2%	10.9%	0.0%
○	授業では、先生の話をしっかり聞いている	23.9%	65.2%	10.9%	0.0%
◎	授業では、友達の考えをしっかり聞いている	34.8%	60.9%	2.2%	2.2%
◁	授業では、自分の考えを進んで伝えている	28.3%	45.7%	21.7%	4.3%
◁	授業では、分からないことやできないことに粘り強く取り組んでいる	21.7%	50.0%	26.1%	2.2%
○	タブレットを使うときの約束を守り、進んで使っている。	45.7%	41.3%	8.7%	4.3%
○	地域の人や先生、友達に明るく元気に挨拶をしている	34.8%	54.3%	8.7%	2.2%
◎	人が困っているときは進んで助けたり、手伝ったりしている	37.0%	58.7%	4.3%	0.0%
○	相手の気持ちを考えた言葉遣いや話し方をしている	19.6%	63.0%	15.2%	2.2%
◎	縦割り班での活動をなかよくやっている	39.1%	52.2%	6.5%	2.2%
○	友達のよいところや頑張っていることを進んで見つけている	37.0%	47.8%	13.0%	2.2%
◎	決められた学習や生活のルールを守っている	28.3%	65.2%	6.5%	0.0%
○	はじめのある行動ができています	15.2%	69.6%	13.0%	2.2%
◎	先生は、頑張っていることを認めてくれたり励ましてくれたりしている	43.5%	56.5%	0.0%	0.0%
◎	学校に行くのは楽しい	54.3%	43.5%	2.2%	0.0%
◎	いじめは、どんな理由があっても、絶対にいけないことだと思う	78.3%	21.7%	0.0%	0.0%
◎	健康や安全に気を付けて学校生活を送っている	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
◎	学校行事に参加したり便りやブログなどを讀んだりして学校の情報を知ろうとしている	39.1%	58.7%	2.2%	2.2%
◎	学校は、いじめゼロに向けた取り組みができています	30.4%	67.4%	2.2%	2.2%